

## 第15回 LCV「諏訪圏情報BOX」

- **放送日** 令和8年2月17日(火)、2月24日(火)
- **テーマ** 「春の山火事予防運動について」
- **出演者** 諏訪地域振興局 林務課 小河原 義友

- 聞き手とのやりとり(概要)

(Q1)「春の山火事予防運動」とはどのようなものなのでしょうか？

(A1) 冬から春にかけては、空気が乾燥して風が強い日が多いため、山火事が発生しやすい季節となっています。全国で見ると、山火事の約7割が1月から5月に発生しています。これからの季節はだんだんと暖かくなってきますので、山へ出かける人や農作業をする人が増えることにより、山火事が発生する恐れが更に大きくなります。

そこで長野県では、2月1日から5月31日までの4か月間を「春の山火事予防運動」の実施期間として、重点的に広報活動などをおこなうこととしています。

例年、3月1日からの3か月間としていましたが、県内や全国で山火事が多く発生していることから、今年は例年より1か月前倒しさせていただいております。

(Q2) 具体的にはどのような活動を実施するのでしょうか。

(A2) 広報活動としては、ラジオなどのメディアを活用した啓発や、ポスターなどの掲示をおこないます。

そのほかにも、乾燥した日が続いたときや風が強い日には、地域のパトロールをおこなう予定です。

(Q3) 山火事は、どれくらい発生しているのでしょうか。

(A3) 諏訪管内では、令和6年4月に1件の山火事が発生しています。また、先月27日にも諏訪市で山火事が発生しました。このことから、この時期の山火事リスクの高さがわかるかと思います。

(Q4) 山火事はどのような原因で起きるのでしょうか。

(A4) 雷などの自然現象が原因となることもありますが、原因の多くは、人の不注意によるものとなっています。特に、たき火や野焼きの火が燃え広がってしまったケースが多く、この二つの原因だけで 50%を超えています。

令和 6 年の諏訪管内で発生した山火事では、たき火の燃え広がりが原因となっています。

これからの季節、レクリエーションや農作業の準備などで火を起こすこともあるかと思いますが、屋外で火を使う場合は、ちょっとした不注意が山火事につながる可能性がありますので、十分な注意が必要です。

(Q5) 山火事を起こさないためには、どんなことに注意すればよいでしょうか？

(A5) 一番の対策は、屋外で火を使わないことです。特に、雨が少なく乾燥した日や、風が強い日には、屋外で火を使うことは絶対にしないでいただきたいと思います。

ただ、やむを得ず火を使うときには、必ず消火用の水を用意して、作業が終わったら、完全に消火されたことを確認するようにしてください。

また、屋外でタバコを吸うときにも注意が必要です。火のついたままのタバコはもちろんですが、タバコの吸い殻を投げ捨てることも絶対にやめていただくようお願いします。

(Q6) もしも山火事が発生してしまったら、どうすればよいでしょうか。

(A6) 春の屋外では、光の加減で火が見えづらく、知らない間に飛び火をすることもあり大変危険です。火災が発生してしまった場合には、決して一人で消そうとはせず、すぐに消防署へ通報してください。

自分で消そうとすると、火に巻かれたり煙を吸ったりして重大な事故につながる恐れがありますので、早めに避難することが大切です。